



多文化共生キャンパスを目指して

-中央教育棟ムスリム用祈祷所の

Wudu(小浄)設置提案-

創価大学国際教養学部 杉本ゼミ



プロジェクトメンバー



大橋周真
(おおはし しゅうま)
国際教養学部 4年



高尾茉莉子
(たかお まこ)
国際教養学部 3年



中尾夏季
(なかお なつき)
国際教養学部 3年
現在マラヤ大学にて留学中



中平和之
(なかひら かずゆき)
国際教養学部 3年
現在マラヤ大学にて留学中



取り上げた課題

現在、創価大学に学ぶ24名の「ムスリム（イスラム教徒）」の留学生に焦点を当てて考えていきたい。

**“イスラム教を信奉しているムスリムの学生にとって、
果たして創価大学は本当に快適な大学なのであろうか？”**

自国とは異なる習慣の中で生きるムスリムの留学生たちは、創価大学の生活でどんなことを考え、生活しているのだろうか？ ムスリム学生が、より快適な学生生活を送れるように、本学が抱える課題と提案、そしてその実現可能性について考えていきたい。



研究・活動の目的

本プロジェクトの目的は、

1. ムスリム学生の実生活実態と課題を明らかにし、
2. 創価大学における「ムスリム・フレンドリー環境」を整備し、多文化共生モデルを構築すること

この取り組みを通じて、**SDG 4** (質の高い教育をみんなに) **SDG 10** (不平等削減) **SDG 11** (持続可能な都市) **SDG 16** (平和と包摂的社会) の実践を大学

レベルで推進することを目指す！



アジェンダ

- 現状認識(p6-11)
- 問題提起(p12)
- 解決策(p13-21)
- 期待される効果とSGDs(p22)
- 今後の展望(p23)
- おわりに(p24)

現状認識

～ムスリムの生活/ Life of Muslim～

イスラム教徒の生活は「六信五行」と呼ばれる
ムスリムの基本的な考え方と行動に基づいている。

● 六信（信ずべき6つの信仰箇条）

- 1) アッラー（唯一絶対の神）
- 2) 天使（神の使い）
- 3) 啓典（クルアーン：神の声の記録）
- 4) 預言者（神の言葉を伝える人）
- 5) 来世（復活や死後の生命）
- 6) 天命（神が定めた運命）

● 五行（負うべき5つの義務）

- 1) 信仰の告白（神を信じることを声に出す）
- 2) 礼拝（1日5回お祈りをする）
- 3) 喜捨（富める者は貧しい者に与える）
- 4) 断食 サウム（イスラム暦9月の1ヶ月間日中の
飲食を断つ）
- 5) 巡礼（一生に一度は聖地へ行く）



現状認識

礼拝とは、ムスリムが一日に5回

(①日が昇る前、②昼間、③夕方、④日没、⑤真夜中)、

日常生活の中で行う神への祈りである。



モスクや自宅、大学など、
清潔で静かな場所で行われる。

創価大学では、
中央教育棟東棟7階にムスリム用祈祷所がある。

Here→



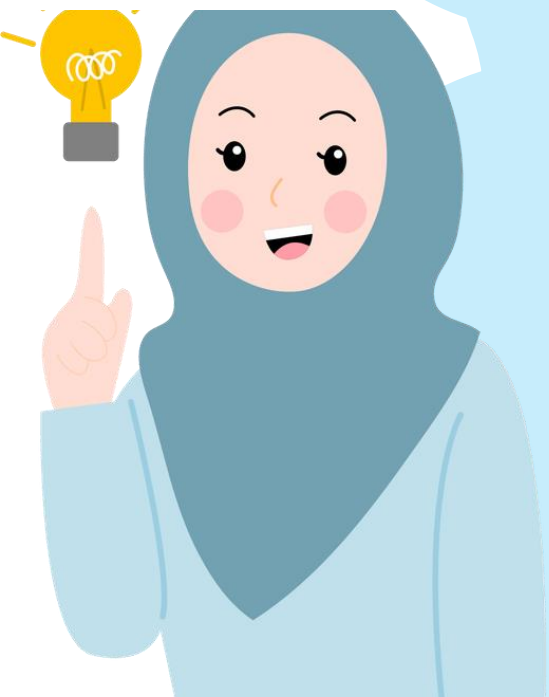
礼拝とは？

どこで礼拝してるの？

礼拝には何が必要？

清潔な場所に加え、身体を清めるための

Wuduが欠かせない



🌿 Wuduとは？

Wudu（小浄）とは、ムスリムが礼拝前に身体を清める行為で、手・口・顔・足などを水で洗うことで心身を整えること。

🌿 「祈り」とWuduの関係

If you want to enter your house, you don't have the key. Can you enter your house? Cannot.

家に入ろうとしているのに鍵を持っていなかったら、入れますか？入れませんよね。

So if you want to have prayer, you have the wudu first.
If no wudu, cannot pray.

同じように、礼拝をしたいなら、まずWuduをしなければなりません。



現状認識～現地からの声（マレーシア）～

～Wuduが礼拝においてなぜ不可欠なのか～

ハナフィー・フシン（Hanafi Hussin）名誉教授

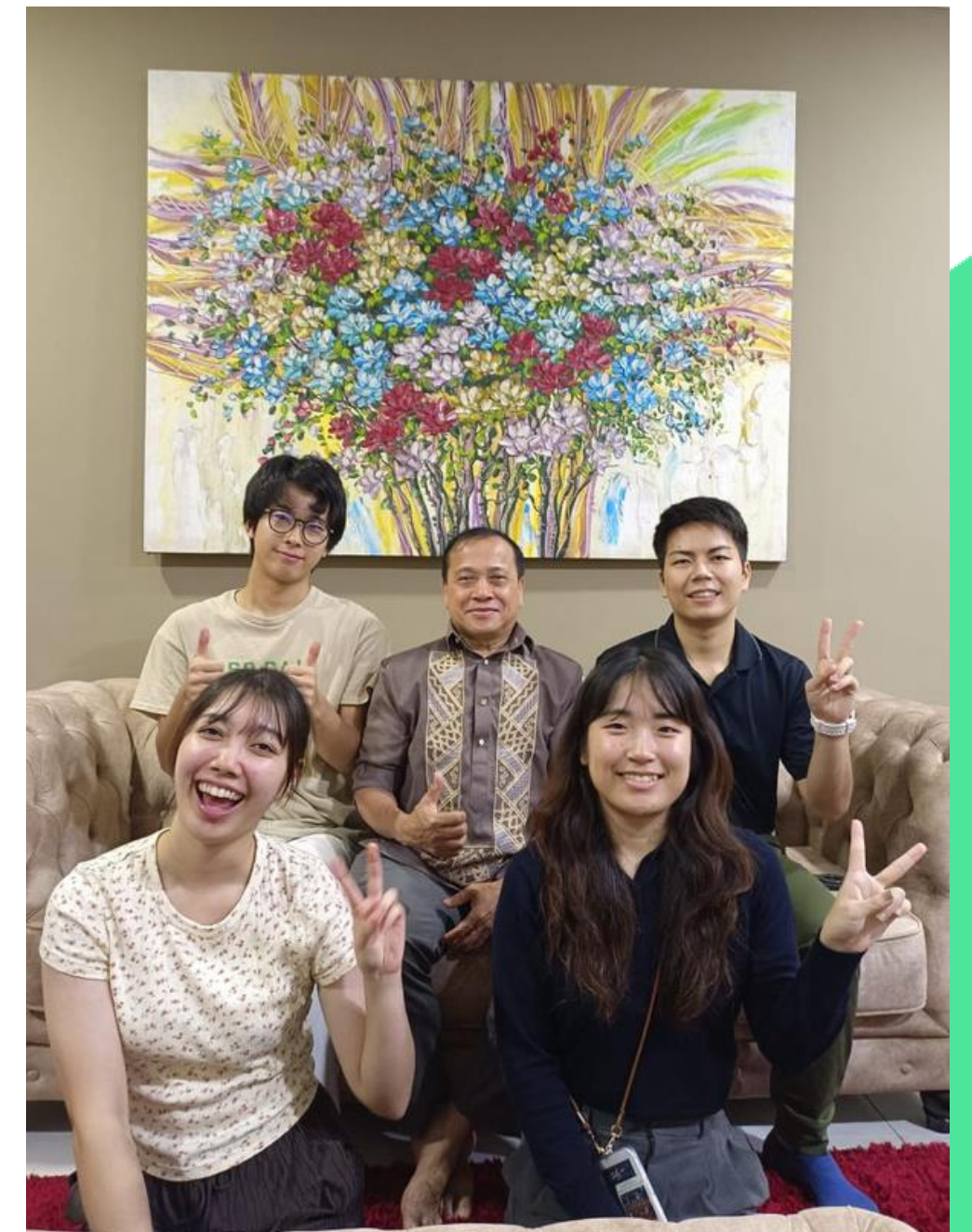
マラヤ大学 名誉教授（元 人文社会科学部長）

専門分野：東南アジア文化人類学、伝統芸能・儀式研究

2024,2025年度のマレーシア短期インターナショナル・フ

ィールドワークでの担当教授

（写真中央） ハナフィー名誉教授



Why Wudu is important for
Muslim prayer, and what's
happened if a person prays
without Wudu?



中平和之

ハナフィー
名誉教授

なぜイスラム教の礼拝において
Wudu（小浄）が重要なのか、
そしてWuduをせずに礼拝した
場合はどうなるのですか？

現状認識 ～本学のムスリム生徒からの声～

～創価大学での祈りについて～



Mr. RAMJAN ISLAM

出身：バングラデシュ

所属：正規学生 経営学部 1年

住まい：滝山国際寮

基本的には寮の自室で祈ります。
中央教育棟（E棟）7階の礼拝室は**授業がある日に**利用し、そこでは一日に3回祈っています。

トイレの洗面台で顔と手を洗います。足を洗う際は、ペットボトルに水を入れて**4階にある和式トイレ**に行き、足を洗い再び靴を履きます。

周りへの配慮で洗面台は避けていますが、トイレ個室での代用は**不衛生で辛い**です。特に冬の冷水での洗浄は、**身体的に非常に困難**です。

普段はどこでお祈りをしますか？

中央教育棟でお祈りをする際、事前のWuduはどうしていますか？

現状についてどう感じていますか？

問題提起 ～みえてきた課題～

Wuduは単なる衛生行為ではなく、精神的・宗教的な準備行為であり、礼拝の成立条件の一部である。

- ①物理的困難と危険性：周囲への水跳ね、転倒のリスク
- ②冬場の環境：温水対応が不可欠
- ③心理的負担：周囲に迷惑をかけないよう細心の注意を払っている

⇒Wuduを適切に行えない環境は、ムスリム学生にとっては礼拝の自由そのものが制限されている状態と受け取られかねない。

The image features a white background with decorative green elements. In the top-left corner, there is a light green shape with dark green leaf outlines. In the top-right corner, there is a dark green shape with white dashed lines, resembling a watermelon slice. In the bottom-right corner, there is a light green shape. The text "Solutions for the problem" is centered in a gold, serif font.

Solutions for
the problem

大学内にWudu専用のお手洗い場の設置



@創価大学中央教育棟東棟7階



右写真：東海大学の礼拝所

解決策

Wudu専用ユニットの取り付け工事

- 📍 **場所：中央教育棟東棟7階**
礼拝室への「増設」
 - 既存洗面台は撤去せず、室内コーナーを活用。
- ✂ **工法：「防水ステージ（床上げ）」方式**
 - 床を上げることで配管を隠し、万全の防水対策を実施。建物へのダメージを防ぐ。
- 💧 **機能：温水・ユニバーサルデザイン完備**
 - 既存給湯管を延長し、「お湯」を実現。
 - 防滑床で転倒ゼロへ。
- **工期：2026年8月**
- **総予算：464,200円（予算内達成）**
※予備費・安全対策費込み



施工例：<https://www.mizken.com/jirei/7334/>

解決策

Wudu設置の主なスケジュール

4月～5月：詳細設計・学内調整

- ・ 管財・施設部門との設置場所・仕様の最終確認
- ・ 施工業者選定、見積もり精査

6月～7月：周知・啓発期間

- ・ ムスリム学生向け説明会
- ・ 利用マニュアル（動画等）の制作

8月（夏季休業）：設置工事（約一週間ほど）

- ・ 集中講義期間等を避けて施工

9月：運用開始・オープニング

- ・ 後期授業開始に合わせて利用開始
- ・ 日本人学生・留学生合同の「お披露目・異文化理解イベント」開催

10月～11月：モニタリング・報告

- ・ 利用状況調査、アンケート実施
- ・ SDGsグッドプラクティス成果報告書作成

解決策

Wudu専用ユニットの取り付け工事

- 📍 **場所：中央教育棟東棟7階**
礼拝室への「増設」
 - 既存洗面台は撤去せず、室内コーナーを活用。
- ✂ **工法：「防水ステージ（床上げ）」方式**
 - 床を上げることで配管を隠し、万全の防水対策を実施。建物へのダメージを防ぐ。
- 💧 **機能：温水・ユニバーサルデザイン完備**
 - 既存給湯管を延長し、「お湯」を実現。
 - 防滑床で転倒ゼロへ。
- **工期：2026年8月**
- **総予算：464,200円（予算内達成）**

※予備費・安全対策費込み



施工例：<https://www.mizken.com/jirei/7334/>

期待される効果とSDG s

○ムスリム学生に対する効果

ムスリムの人の安心感・信頼感の向上

10 人や国の不平等をなくそう



○日本人学生・非ムスリム学生に対する効果

認知・宣伝促進

4 質の高い教育をみんなに



○大学・社会に対する効果

包括的な多文化共生への実践

11 住み続けられるまちづくりを



16 平和と公正をすべての人に



➡ Wudu設置は安心・理解・国際化を同時に成立する政策

今後の展望

—Wudu設置後の活動—

理解促進と情報共有



包括的なキャンパス環境
への発展

教育・学生主体活動
との連動

環境整備 × 理解 × 教育が循環するキャンパスへ

おわりに

創価大学の理念 = 「人間主義」 「学生第一」

掲げてきた価値をどのように、キャンパス内で
どのように実践していくか？

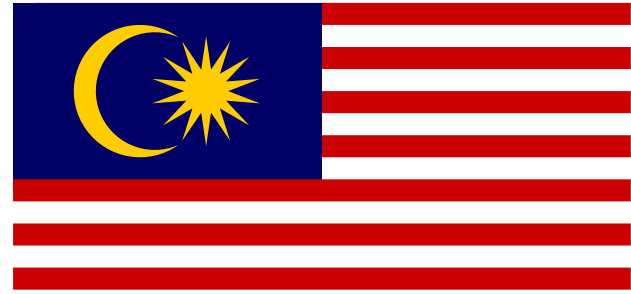


学生の声を反映したWuduの設置は
大学の価値創出に大きな役割を果たす！

「支援対象のための施策」から「全学生の学び」への貢献



ご協力いただいた方たち



*Univ of
Malaya
Prof. Hanafi*



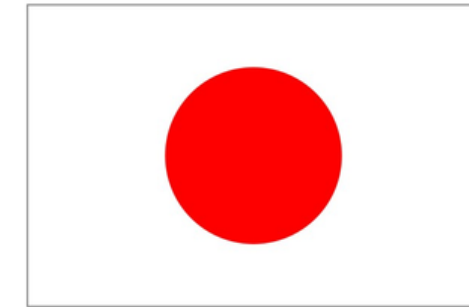
*Guide at Sultan
Salahuddin Abdul Aziz
Shah Mosque*



Mr. RAMJAN ISLAM



国際教養学部杉本教授



FILA OFFICE

小田事務長



参考文献

岩崎 真紀. (2018). ムスリム学生と異文化適応：礼拝空間をめぐる日本の国立大学のとりくみ. 九州大学留学生センター紀要, 26, 1-23. <https://doi.org/10.15017/478210>

創価大学(2021) Top Global University Project Initiative's, 「スーパーグローバル大学創成支援」事業の創価大学パンフレットhttps://www.soka.ac.jp/assets/static/special/TGU-Pamph_V2/index.html (2025年12月30日にアクセス)

ハラル・ジャパン協会(2024). イスラム教について-ハラル基礎知識 (2024年9月15日にアクセス)

Kim, Ward, C. and J. Stuart (2025). "Diversity-receptiveness in higher education: Perceived multicultural norms, well-being and attitudes toward international students". Educational Psychology Review, Vol.28, number 83, pp.1-34.

Snyder, Benson R (1973) The Hidden Curriculum, MIT Paperback Series Vol. 232.

TOWA Engineering ホームページ (2025) 「学生第一」の教育環境と学習支援が最大の目的 中教育棟「GLOBAL SQUARE」のICT環境づくりをサポート <https://www.towaeng.co.jp/case-study/case75/> (2025年12月30日にアクセス)